

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：八幡市

| プロジェクト名                          | 男山地域再生プロジェクト   |        | 実施期間  | 平成25年度 | テーマ      | まちの安心・安全                            | 新規・継続の区分 | 継続 |
|----------------------------------|--|--------|---|--------|----------|-------------------------------------|----------|----|
| 地域における現状、課題及び住民ニーズ               | <p>この間京都府から「まちの仕事人」の派遣・ご支援をいただいております、UR都市機構及び関西大学との三者で進めていた「男山地域まちづくり連携協定」を山田啓二知事の立会のもと締結することができた。</p> <p>八幡市の男山地域は、昭和47年に団地の第一期入居が開始され、現在では市の人口の約3分の1を占めている。地域の核をなす総戸数約6,000戸の男山団地では、建物の老朽化や少子高齢化などの課題がある。また平成19年12月にUR都市機構より発表したUR賃貸住宅ストック再生・再編方針において、集約型の団地再生とされたため、既存のストックを活かし、活性化に向けた取組を行っていく必要がある。</p> |        |   |        |          |                                     |          |    |
| プロジェクトの目的及び概要                    | <p>男山地域の再生について住民等、京都府、UR都市機構及び関西大学と協働し、将来を見据えた快適なまちづくりを促進するため、男山地域再生基本計画を策定し、具体的な取組を順次検討していく。</p> <p>男山地域再生基本計画の将来目標「地域とともに元気な暮らしができる、住みたい、住みつづけたい男山」の実現に向け、住民自らが主体的に動くことができるように関係機関と連携して支援を行うとともに、庁内の体制強化を図っていく。</p>  |        |   |        |          |                                     |          |    |
|                                  | 総事業費（千円）   | 68,920 | 本年度事業費（千円）  | 64,641 | 交付金額（千円） | 16,139                              |          |    |
| プロジェクトを構成する事業の平成25年度事業実績(出来高数値等) |  |        |   |        |          |                                     |          |    |
| 事業分類                             | 事業名  | 事業種別   | 事業概要  |        |          | 主な実績（出来高数値等）                        |          |    |
| 市町村<br>実施事業                      | 住宅基本計画等策定事業  | 交付対象事業 | 男山団地等の集合住宅の老朽化などの住宅及び住生活を取り巻く社会構造の変化を踏まえ、住宅政策を適正に進めるための計画を策定。京都府「まちの仕事人」もオブザーバーとして参加。 |        |          | 住宅基本計画後期計画策定（後期 26年度～35年度）          |          |    |
|                                  | 都市計画に関する事業費（「八幡市都市計画マスタープラン」の検証）   | 交付対象事業 | 「八幡市都市計画マスタープラン」で男山地域を近郊都市型住宅ゾーンと位置付け、今後再整備の方策、都市計画変更案等を検討し、男山地域の更なる活性化を図る。           |        |          | 線引き見直しに向けた都市計画変更案の検討等               |          |    |
|                                  | 男山地域のわかたけ保育園子育て環境充実事業  | 交付対象事業 | 多様な保護者のニーズに対応できるよう家庭支援保育士の配置、発達障害の疑いのある児童に対し早期の保育士加配を行う。                              |        |          | 保育園臨時職員配置<br>（基本となる保育園機能以上のサービス提供分） |          |    |
|                                  | 男山地域の介護予防拠点、老人憩いの家「八寿園」屋上防水工事  | 交付対象事業 | 男山地域の介護予防拠点としている老人憩いの家「八寿園」の防水工事を実施。  |        |          | 防水面積 357.8㎡                         |          |    |
|                                  | 男山地域の都市基盤改良工事  | 交付対象事業 | 男山地域の開発から30年以上経ち、都市基盤の再生のため、生活道路の改修整備を推進し、利便性の向上を図っていく。                               |        |          | 長沢 2か所<br>吉井・松里 1か所                 |          |    |
|                                  | 男山地域の福祉センター改修事業費   | 関連事業   | 昭和55年に建設され老朽化した旧八幡第五幼稚園の児童発達支援施設としての活用に向けた改修と耐震診断を行う。                                 |        |          | 相談室拡張改修、耐震診断委託実施                    |          |    |

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：八幡市

|                        |   |   |   |   |   |
|------------------------|---|---|---|---|---|
| 住民協働事業                 | 男山地域再生事業  | 交付対象事業  | 京都府、関西大学、UR都市機構と連携して、男山地域再生に取り組む。先進地視察、講演会開催、だんだんテラスオープン、男山地域再生基本計画作成経費等。 | UR都市機構のOB職員（嘱託報酬） 1人<br>長野県飯田市の先進地視察等<br>関西大学団地再編プロジェクト委託   |   |
|                        | 男山地域、親と子の育ちあい広場「わくわく」児童発達支援事業   | 交付対象事業  | 男山地域の福祉センターで発達につまずきのある児童の相談・療育を実施。対象は保育園・幼稚園に通っている児童で年齢はおおむね1歳から就学まで。     | セラピスト配置 6人  |   |
|                        | 男山地域、府下学力N○1学校改革推進事業  | 交付対象事業  | 小中一貫教育推進、学力向上推進（学習支援員増員、スクールソーシャルワーカー増員等）、英語検定受験負担。                       | 実施校 くすのき小、さくら小、男山第二中、男山第三中<br>小中一貫教育推進コーディネーターの代替講師配置<br>学習支援員を増員<br>スクールソーシャルワーカー配置<br>英語検定受験料負担 |   |
| 成果指標①                  | 成果指標の目標数値   | 山田啓二知事の立会のもと、UR都市機構及び関西大学との三者で進めていた「男山地域まちづくり連携協定」の締結 |   | 成果指標の実績値<br>(26年4月1日時点)   | 平成25年10月25日締結                             |
|                        | 成果指標の達成状況   | ○   | (左の理由)  | UR都市機構及び関西大学との三者で「男山地域まちづくり連携協定」を締結することができた。  |   |
|                        | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期   |   | (理由)  |   | (時期)                                      |
| 成果指標②                  | 成果指標の目標数値   | 「だんだんテラス」オープン   |   | 成果指標の実績値<br>(26年4月1日時点)   | 365日オープン(※平成25年11月16日オープン)<br>利用人数 月 600人 |
|                        | 成果指標の達成状況   | ○   | (左の理由)  | 関西大学の学生が常駐して住民との交流を行い、男山地域再生事業の活動拠点となっている。  |   |
|                        | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期   |   | (理由)  |   | (時期)                                      |
| 本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 | 京都府の立会いのもと、UR都市機構及び関西大学との三者で「男山地域まちづくり連携協定」を締結し、「だんだんテラス」が開設され、京都府、関西大学、UR都市機構と連携し、地域住民といっしょに男山地域再生に取り組む環境が整った。 |   |   |   |   |
| ※未達成の場合も効果を記載すること      | ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。   |   |   |   |   |

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：八幡市

|                 |                  |  |
|-----------------|------------------|--|
| 本プロジェクトに対する自己評価 | 関連事業との連携効果       | 関連事業「男山地域の福祉センター改修事業」は、発達につまずきのある児童の相談・療育を実施している男山地域の福祉センターを充実させる。 |
|                 | 府と市町村等との連携に資する成果 | 京都府の立会いのもと、UR都市機構及び関西大学との三者で「男山地域まちづくり連携協定」を締結することができた。            |
|                 | 住民の自治意識を高める成果    | 「だんだんテラス」の開設により、住民が主体となって、男山地域の再生に向けた取り組みが活性化した。                   |
|                 | リーディング・モデル成果     | 「だんだんテラス」は住民参加型の地域活性化事業のモデルとなる。                                    |
|                 | 広域的波及成果          | 地域の核をなす総戸数約6,000戸の男山団地の再編は、今後の八幡市全体の人口問題に影響を及ぼす。                   |

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。